

## 原文

明治新政府は、政権樹立後、すぐに朝鮮と国交を結ぼうとした。しかし、中国の清朝に服属していた朝鮮は、外交関係を結ぶことを拒絶した。朝鮮を開国させた1876(明治9)年の日朝修好条規は、その第一条で、「朝鮮国は自主の国」であるとうたった。これは、清朝の支配から朝鮮を切りはなすねらいがあった。

朝鮮と清との関係について、誤解するおそれのある表現である。

## 修正文

明治新政府は、政権樹立後、すぐに朝鮮と国交を結ぼうとした。しかし、中国の清朝に朝貢していた朝鮮は、外交関係を結ぶことを拒絶した。朝鮮を開国させた1876(明治9)年の日朝修好条規は、その第一条で、「朝鮮国は自主の国」であるとうたった。これは、清朝の影響から朝鮮を切りはなすねらいがあった。